

CAS- Net JAPAN

Campus Sustainability Network in JAPAN

一般社団法人 サステイナブルキャンパス推進協議会

Sustainable Campus Award 2023

第9回 サステイナブルキャンパス賞



2023

8.31 (Thu.)



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

- 第1部門 キャンパスのサステナビリティに配慮した **建築・設備部門**
- 第2部門 キャンパスのサステナビリティに配慮した **大学運営・地域連携部門**
- 第3部門 キャンパスのサステナビリティに配慮した **学生活動部門**

1. 趣 旨

優れたサステイナブルキャンパス構築に係る取組事例を表彰制度によって顕彰し、会員の意識を高めるとともに、サステイナブルキャンパス推進協議会 (CAS-Net JAPAN) の活動を推進し加速させ、持続可能な環境配慮型社会の構築、SDGs の目標達成に貢献することを目的に実施します。

2. 募集対象

下記の3部門に該当する具体事例を対象とします。
原則として、応募できる事例は、各部門につき1事例とします。部門毎に1事例、計3事例の応募が可能ですが、応募申請書はそれぞれ別々に作成してください。

第1部門 キャンパスのサステナビリティに配慮した建築・設備部門

- ・地球環境・利用者環境に配慮した建物・設備・屋外空間等の竣工事例
- ・建築・設備における省エネ対策、維持管理手法、キャンパスにおけるエネルギー消費・CO2排出量の削減、再生可能エネルギーの導入等の取組事例

第2部門 キャンパスのサステナビリティに配慮した大学運営・地域連携部門

- ・環境負荷低減に資する大学運営や、計画立案の取組事例
- ・サステイナブルキャンパス実現に向けた推進体制、整備手法、アクションプラン、広報活動等の具体事例
- ・3R (廃棄物) 対策、水・食料問題、物品購入、交通問題、生態環境の保全等の活動事例
- ・サステイナブルキャンパスの評価手法・研究手法等の開発事例
- ・地域社会・行政・民間企業等との協働、大学間ネットワーク構築等の具体事例

第3部門 キャンパスのサステナビリティに配慮した学生活動部門

- ・学生の参画によるサステイナブルキャンパス実現に向けた活動事例
- ・学生の参画を促す環境教育、カリキュラム開発等の具体事例

3. 応募資格

サステイナブルキャンパスの構築に関連する活動を行っている団体または個人で、期限 (2023年7月31日) までに応募登録を行った者

4. 表 彰

2023年11月18日 (土) に千葉大学墨田サテライトキャンパスで開催される年次大会で、応募部門毎に原則として各1事例を表彰します。

問合せ・質疑は事務局までEメールをお願いします。

一般社団法人 サステイナブルキャンパス推進協議会 (CAS-Net JAPAN) 表彰制度事務局 scaward@casnet-japan.org

詳細はこちら → <http://casnet-japan.org/free/award>

5. 審査委員



阿部 治

立教大学・名誉教授
サステイナビリティ教育



及川清昭

立命館大学・名誉教授
建築計画・建築設計



田中英紀

名古屋大学・教授
設備計画・省エネルギー



坂井 猛

九州大学：教授
都市計画・地域連携



朴 恵淑

三重大学：特命副学長
SDGs・管理運営・学生参画



1. 趣 旨

優れたサステイナブルキャンパス構築に係る取組事例を表彰制度によって顕彰し、会員の意識を高めるとともに、サステイナブルキャンパス推進協議会（CAS-Net JAPAN）の活動を推進し加速させ、持続可能な環境配慮型社会の構築、SDGs の目標達成に貢献することを目的に実施します。（CAS-Net JAPAN 表彰制度分科会主査／千葉大学・上野武）

2. 募集対象

CAS-Net JAPAN が取り扱うテーマに対応する下記の3部門に該当する具体事例を対象とします。

原則として、応募できる事例は、各部門につき1事例とします。部門毎に1事例、計3事例の応募が可能ですが、応募申請書はそれぞれ別々に作成してください。

また、各部門の受賞取組のプレゼンテーションの中から、特に印象に残る優れた取組についてサステイナブルキャンパス特別賞を授与いたします。また、初めて参加された大学の中から、ニューカマー賞を選定したいと考えています。ふるってご応募ください。（昨年の受賞事例については、2023年5月末を目途にHPで公開します。）

第1部門 キャンパスのサステナビリティに配慮した **建築・設備部門**

- ・地球環境・利用者環境に配慮した建物・設備・屋外空間等の竣工事例
- ・建築・設備における省エネ対策、維持管理手法
- ・キャンパスにおけるエネルギー消費・CO2排出量の削減、再生可能エネルギーの導入等の取組事例

第2部門 キャンパスのサステナビリティに配慮した **大学運営・地域連携部門**

- ・環境負荷低減に資する大学運営や、計画立案の取組事例
- ・サステイナブルキャンパス実現に向けた推進体制、整備手法、アクションプラン、広報活動等の具体事例
- ・3R（廃棄物）対策、水・食料問題、物品購入、交通問題、生態環境の保全等の活動事例
- ・サステイナブルキャンパスの評価手法・研究手法等の開発事例
- ・地域社会・行政・民間企業等との協働、大学間ネットワーク構築等の具体事例

第3部門 キャンパスのサステナビリティに配慮した **学生活動部門**

- ・学生の参画によるサステイナブルキャンパス実現に向けた活動事例
- ・学生の参画を促す環境教育、カリキュラム開発等の具体事例

3. 応募資格

サステイナブルキャンパスの構築に関連する活動を行っている団体または個人で、期限（2023年7月31日）までに応募登録を行った者

4. スケジュール

応募要項発表：2023年5月10日（水）

応募登録締切：2023年7月31日（月）

応募書類提出締切：2023年8月31日（木）

審査委員会：2023年9月中旬

審査結果通知：2023年10月初旬

表彰式：2023年11月18日（土） 於：千葉大学墨田サテライトキャンパス

5. 応募登録

応募申請団体名・申請代表者・連絡先・応募部門を、事前に事務局までE-mailでご連絡下さい。

6. 応募提出物

① 応募申請書：A4版用紙 縦 1枚（様式1）WORD形式

② 概要説明書：A3版用紙 横 1枚（様式自由）PDF形式

応募団体名、事例名称を用紙左上に必ず記載してください。

写真、図表等を使って取組内容および、その成果や効果をわかりやすく説明してください。

7. 審査方法

学識者で構成された審査委員会で、応募提出物を審査し表彰対象を決定します。

現地審査を実施する場合があります。

審査委員：阿部 治（立教大学・名誉教授・環境教育／サステナビリティ教育）

及川清昭（立命館大学・名誉教授・建築計画／建築設計）

田中英紀（名古屋大学・教授・建築環境計画／省エネルギー）

坂井 猛（九州大学・教授・都市計画／地域連携）

朴 恵淑（三重大学・特命副学長・SDGs／管理運営／学生参画） [50音順、敬称略]

8. 表 彰

2023年11月18日（土）に開催される年次大会において、応募部門毎に原則として各1事例を表彰します。

9. 事例の公開

応募提出物のうち、②概要説明書は、当協議会ホームページで公開することがあります。

非公開としたい部分がある場合は応募時にお知らせください。

10. 応募・問合せ先

一般社団法人 サステイナブルキャンパス推進協議会 表彰制度事務局

E-mail：scaward@casnet-japan.org

提出物をそろえ、上記までE-mailでお送り下さい。

ファイルサイズは8MB以下になるようにして下さい。

応募登録・問い合わせ等も、E-mailでお願いいたします。

WEBサイトはこちら→

